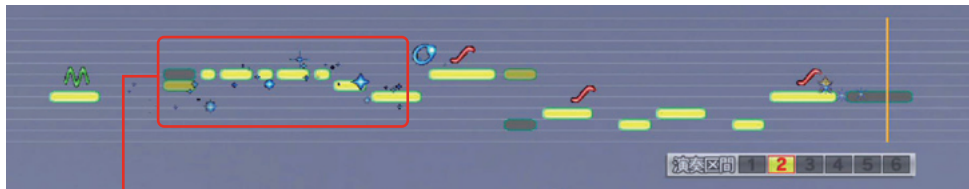


## 精密採点DX

### あなたの歌い方が一目瞭然!

見えるガイドメロディーがあなたの歌をサポート。正しい音程で歌うと明るい黄色、外れた音程だと暗い黄色に変わります。音程はもちろん、こぶし、ビブラート、しゃくり、フォールなど、リアルタイムで分析するのも精密採点DXの特徴です。



左から右に流れる星のキラキラは、そのページの音程評価を表します。青→赤→黄→虹色の順に良い評価となり、悪いときは表示されません。

精密採点DXに登場するマーク

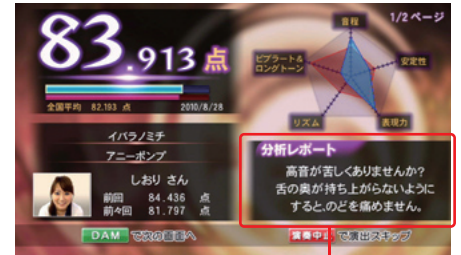


### 精密採点DXチェック項目攻略法

<b>安定性</b> → 震えorまっすぐ 音程が不安定に震えてしまっていないか、まっすぐに発音できているかを評価します。安定して発音するためにフレーズの始めにしっかりと息を吸いましょう。特に高音が含まれるフレーズの前には、めいっばい息を吸ってください。そうすれば発音が安定するだけでなく、いつもは届かなかった音程にも届くようになるでしょう。	<b>表現力</b> → 抑揚 声の大きさに強弱をつけて歌う技術です。抑揚を意識しないで歌うと一本調子な感情の入っていない歌に聞こえてしまいます。歌詞の内容をよく理解して相手に伝えるように歌いましょう。	<b>表現力</b> → こぶし 基本となる旋律の中で音を細かく動かす装飾音的な節回しのことを言います。こぶしと言えば演歌や民謡というイメージがありますが、ソウルミュージックや最近のJ-POPにもこぶし的な節回しが入っています。こぶしを回して歌に華を添えてみましょう。	<b>表現力</b> → しゃくり 低い音程から滑らかに本来の音程までずり上げる技術です。全ての音程をポンポン出してしまうと人差し指1本でピアノを弾いているようにブツ切れたフレーズになってしまいます。しゃくりを上手く使えば滑らかなフレージングとなり言葉も流れてくるでしょう。	<b>表現力</b> → フォール 本来の音程から低い音程に向かって滑らかにずり下げる技術です。フレーズの語尾に使うことが多く切なさを演出したり、時には色気を感じさせたり、あるいは気だるい雰囲気になったり、歌詞の内容や歌手の個性で様々な表現をすることができます。
---	---	--	---	---

### レーダーチャートを大きくせよ!

- ① 音程は基本中の基本!**  
原曲のメロディーラインを外さずに正確に歌えたかを分析しています。キーを変更してもメロディーラインは変わらないので、キーの上げ下げは採点に影響しません。無理に原曲キーで歌うのではなく、自分に合ったキーで歌うことが大切です。
- ② 正確なリズムで!**  
リズムは採点項目の中でも特に影響が大きいポイントです。曲に合わせて一定のテンポを保つことが重要です。伴奏を良く聴いてリズムに合わせて歌いましょう。タメや走りなど、アレンジはほどほどに!



- ③ 腹式呼吸で震えない発声を!**  
腹式呼吸は歌の基本です。腹式呼吸で安定感のある発声を心掛けましょう。

**分析レポートを参考にしよう!**

分析レポートには歌い方の特長が書かれています。アドバイスを参考にし、さらに歌唱力を高めましょう!

**【究極のレアメッセージ】**  
めったに出ないレアメッセージが出現すれば、あなたの歌唱力も相当なハイレベルに!

- ・魅惑のビブラートですね。声も艶っぽく色気がにじみ出ています。
- ・力みのない、自然な歌声です。声に透明感があり、さわやかに聴いていて楽しくなります。

etc.

- ④ ビブラートは必要な時だけ!**  
必要のない場所で無理にビブラートをつけても逆効果になります。ここぞという時にのみに自然なビブラートを心がけましょう。それ以外の部分ではロングトーンで表現するとより良い採点結果が望めます。

- ⑤ 表現力を身につけて!**  
様々な歌唱テクニックも加点の対象になります。こぶしやしゃくり、フォールなどのテクニックはもちろん、歌詞全体を理解して抑揚をつけて歌うようにしましょう。曲全体に全力投球でテクニックを駆使するだけでは良い結果は生まれません。

苦手なテクニックは「FILE05 DAM ボイストレーニング」で鍛えましょう→

<b>リズム</b> → タメor走り 曲に合わせて一定のテンポを保つことです。伴奏をよく聞いてリズムにのって楽しく歌いましょう。リズム感とは頭で考えるものではなく体で覚えるものです。普段からいろいろな音楽を聴いて体を動かせば自然と身につけていくでしょう。	<b>ロングトーン</b> → 上手さ 一回の息で同じ高さの音を長い時間発音することです。音程がフラつかないように声をしっかりとお腹で支えましょう。息の量を一定に保つことで正しい音程を維持することができます。	<b>ビブラート</b> → 上手さ 「ビブラート」とは、歌に余韻を持たすため音の最後で、上下に音程を揺らすことです。波形の美しさを評価します。息の支え方が不安定で声がかたくなったり、口先だけで作り上げたビブラートだと汚いビブラートとなり評価は低くなります。
--	--	---

